

## 1. 骨子

- 1) CN の必要性・重要性のとりまとめ
- 2) CN 施策自体の課題
- 3) CN と CE,NP との共生に関する課題 →「共生」という語の適否について要検討
- 4) 対応案の提案

## 2. 構成案

### 2.1 CN の必要性・重要性のとりまとめ

何のために必要か：軸が必要 健康等 地球環境の健全性  
温暖化の上位概念(プラネタリーヘルス、Well-being など)からの目線が重要

#### 1) 地球温暖化の視点

地球温暖化によって引き起こされる具体的な被害を整理して、重要性を強調する

- ① 災害の巨大化
- ② 食糧難
- ③ 生活環境の悪化（健康問題も含む）
- ④ 自然環境の悪化
- ⑤ 財政に対する悪影響
- ⑥ 経済に対する悪影響（ 2）参照）
- ⑦ 世界の分断・格差の拡大（ 3）参照）

影響：農業、水資源など環境省の気候変動影響評価報告書、IPCC/WG2 など参照

#### 2) 経済の視点

- ①国際経済との関係
- ②エネルギー供給・価格 自然環境への影響も含む
- ③原材料供給 自然環境への影響も含む
- ④産業技術転換
- ⑤既存技術産業の継続

#### 3) 国際問題の視点

- ①地球環境の変化による国際問題・紛争の発生
- ②地球環境の変化による各国の問題の発生に対する日本の対応

防災、セキュリティへの言及も

## 2.2 CN 施策自体の課題

### 1) 地球環境対応への効果

- ①どのレベルで炭素量を保持すれば、地球環境へ良い効果をもたらすか
- ②日本だけの対応で効果は？（ライフサイクルの問題も）
- ③CN 施策展開に必要な投資が官民で可能か

### 2) CN 施策の実施の目的・緊急性の不整合

- ①環境対応を主目的とした場合と経済成長を主目的とした場合の不整合  
(2.3.1 参照)
- ②国としての立場と地域生活の立場の不整合
- ③国の他の施策との優先順位の不整合

### 3) CN の実現性への課題

- ①具体的な推進計画の不備
- ②CN への投資不足
- ③総論賛成-個別反対の弊害
- ④実施主体が明確で無いために責任の所在が不明
- ⑤技術のフレームはできても、実現に向けての具体的な進展計画が構築できない  
**誰が主導するか→ファシリテータ、場づくり、Co-learning が必要**
- ⑥進展する技術と停滞する技術の存在で、トータルな CN の進展ができない

## 2.3 CN と CE, NP との共生（相反性も含む）に関する課題

**焦点は、WINWIN ではないか？**

**森林 動脈と静脈の合体**

### 2.3.1 CE との共生 調和？

#### 1) 共通利益？

- ①地球温暖化対応による経済の安定性
- ②新エネルギーの安定供給による経済安定
- ③CN 技術のイノベーションが産業イノベーションを後押し
- ④経済の活性化が CN を後押し

#### 2) 相反性

- ①経済優先による CN の停滞
- ②投資分担にあり方でどちらかが停滞

**経済だけでなく社会（労働問題など）を絡め込む方がよい 循環型社会？**

### 2.3.2 NP との共生

#### 1) 共通利益

- ①地球温暖化対応による自然の保護
- ②自然の保護による地球温暖化への良好な対応が可能

#### 2) 相反性

##### ①CN 施策が NP に悪影響

- ・ 景観等の数値化できない価値が阻害される
- ・ CN システム立地による自然の損壊
- ・ CN の原材料とするために生物多様性の破壊
- ・ 自然を CO2 の視点だけで評価する CN 施策によって、自然の他の要素に悪影響

##### ②NP 施策が CN に悪影響

- ・ 再生エネルギーの活用の停滞

### 2.4 対応案の提案

**2.2, 2.3** の課題を元に、提案の構成を議論

今日の議論から 第一次から三次までの連携が必要など

### 3. 今後の進め方

提案作成を念頭に置いた情報共有と議論のスケジュールを策定

以上